

クリスチャン・スレーター

ジュリアンの涙

涙にはいろんな意味がある。

提供: ニューラインシネマ 制作: サイプレスフィルム 出演: クリスチャン・スレーター ロビン・タニー 音楽: ハドリック・ウィリアムズ コスチューム・デザイナー: ジョリエット・ボルクサ 編集: ジェフリー・ワルフ
美術監督: スティーブン・マッケイブ 撮影監督: ヘルント・ハイン 共同製作: セシリア・カイト・ローグ 製作総指揮: アラン・ミンデル デニス・ショー マイケル・トレージャー 制作: ジョン・クラスコウ ジョセフ・ピアソン 監督・脚本: アラン・ウェイト
NEW LINE PRODUCTIONS 配給: 東宝 1997 New Line Productions, Inc. All Rights Reserved.

長らく、よそ者が立ち入ることのなかったのどかな田舎町。旅を続ける平凡な男がうっかり迷い込んだ時風変わりな出来事が起こり始める…



「この作品は僕に誇りと
生き甲斐を与えてくれた。」

クリスチャン・スレーター

南北戦争以来よそ者を目にするのが始めてという、世の中から隔離された田舎町に、男が一人、うっかり迷い込んだらどうなるだろうか。そんな人の出入りのない孤立した土地柄では、主人公ジュリアン・ポーのような控えめな男でさえあるがままの姿でいるだけでヒーローになれるのである。

人生に疲れ、心を癒すため旅に出たジュリアン・ポー（クリスチャン・スレーター）は、名も知らぬ田舎町に偶然立ち寄った。長い間部外者の来訪のなかった町の人々はまるで犯罪者を見る目でポーを眺め、やがて取り憑かれたように彼をつきまわすようになる。車が故障し電車やバスといった公共の交通機関すらないこの町で困り果てただなす術もなく立ち往生しているだけであったのに…。



麻薬の売人、殺人鬼、テロリストに爆弾男、ポーに対する噂はますますエスカレートしていく…

ついに市長や保安官など、町の名士たちがポーを問い詰める—どうしてこの町に来たん—いくら真実を話しても彼らには全く通じない。返答に窮したポーは苦し紛れに“ある言葉”を告げる。それは、町の人々の心になぜか共鳴し、静かで退屈だった町はおとぎ話のお姫さまが深い眠りから目覚めたような騒ぎとなる。ポーの勇気と信念にいたく感心した町の人々は救世主であるかのごとくポーを手厚くもてなすのであった。中でも悲しげな美貌の持ち主サラ（ロビン・タニー）はポーの“ある言葉”を耳にするや否や、恋に落ちてしまう。ポーとポーの運命をやさしく包んでくれるサラ。生まれて初めての幸福感に浸るジュリアン・ポー。しかし、うっかり口をついて出た“ある言葉”はポーにあまりにも大きな代償を求めるのであった…。



“ある言葉”とは苦し紛れの嘘…。でも今さらどうしようもない。

最新作「フラッド」を引くざげ、ハリウッド俳優として今、人気絶頂のクリスチャン・スレーターが不条理とも運命ともいべき数奇な出来事に翻弄される男を熱演彼本来の持ち味であるナイーブな表現力と研ぎ澄まされた感性は見る者を知らず知らずのうちに作品の内側へと引きずり込んでいく。共演のロビン・タニーは「ザ・クラフト」「エンパイアレコード」とヒット作に出演、昨年は「NIAGARA NIAGARA」で97年ベネチア国際映画祭主演女優賞を受賞し演技派俳優として確実にステップを踏む彼女、クリスチャン・スレーターとの見事な演技のハーモニーはその非凡さを証明しているといえよう。一癖も二癖もある町の住人たちを演じたハーブ・プレスネル「ファーゴ」などの演技派俳優たちがさらに彼らを引き立たせ、不可思議でいて、おもしろおかしい人間模様を紡ぎだしていく。



人として生まれたからには必ず通る道。人生のメインイベントがポーに迫っていた…。

「風景も音楽も言葉も美しい映画。瞬間の気持ち良さと複雑な息苦しさに襲われる。」……佐伯日菜子「女優」
「人間の心の優しさにほのぼのしていたら……やっぱり人間って酷なのですね。」……シルビア「タレント・ニュー・キヤスター」
「クリスチャン・スレーターの切なく、困ったような表情が私は好きっつ。」……中森友香「タレント」

脚本・監督 アラン・ウェイド 製作総指揮 アラン・ミンデル デニス・ショー 制作 ジョセフ・ピアソン ジョン・グラスコウ 撮影監督 ベレント・ハインル 編集 ジェフリー・ウルフ 美術監督 スティーブン・マッケイブ
コストュームデザイナー ジュリエット・ボルクサ 音楽 バトリック・ウリアムズ キャスティング監督 タッド・テイラー
CAST クリスチャン・スレーター ロビン・タニー マイケル・バークス チェリー・ジョーンズ フランキ・R・フェイスン ハーブ・プレスネル アリソン・ジャニー ラターニャ・リチャードソン
ダイナ・スバイベイ ブルース・ボーン ロイ・クーバー セリコ・イヴァネク アイオ・ティレット・ライト 1997年/アメリカ映画/カラー/ドルビーSR/84分/ビスタサイズ Licensed by GAGA PICTURES

10月3日(土)よりレイトロードショー!! (10/16迄)
連日PM8:35より1日1回上映 (終了10:05)

★前売鑑賞券¥1400(当日一般券 ¥1700の処) 絶賛発売中!

*劇場窓口ほか、EST-1、ロイヤルギフト、心斎橋そごう、パルコ
など市内各所のプレイガイド、ぴあ、ローソンでお求め下さい。

心斎橋アメリカ村 BIG STEP 4F
パラダイスシネマ
06(282)1460